

国際基督教大学(ICU)はキリスト教の精神にもとづき、「国際的社会人としての教養をもって、神と人々とに奉仕する有為の人材を養成し、恒久平和の確立に資すること」を目的として、1953年に献学された。

人種、宗教、国籍を問わず、すべての学生を平等に受け入れている ICU では、開学以来、新入生が一人ひとり入学式で「世界人権宣言」を尊重することを誓う「学生宣誓」に署名する。

このように、ICU がグローバル・コンパクトの掲げる原則を支持することは、大学の理念と一致しており、特に「人権擁護の支持を尊重」「環境に対する責任のイニシアティブ」の二点に関しては、具体的に学内で実践すべく日々努力している。

現在、ICU はグローバルな社会で活躍する学生を育成する大学として、文部科学省による「スーパーグローバル大学創成支援」にも採択されている。「信頼される地球市民」として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する人材の輩出を目指し、今後もグローバル・コンパクトを支持していきたい。

学長
日比谷潤子

人権セミナーの実施について

入学式で、世界人権宣言を遵守する旨が書かれた「学生宣誓」に署名する国際基督教大学(ICU)では、毎年12月の世界人権週間に合わせ、人権委員会と人権相談員が協力して「人権セミナー」を実施している。

このセミナーは、各界で活躍している方に、自身の仕事や専門領域に関して人権の視点で語っていただくことにより、日常生活の中に存在する人権問題を学生と教職員が認識する機会とすることを目的として開催し、大学のコンボケーションアワーという時間帯に実施される。このコンボケーションアワーは、教職員、学生と一緒に集まることができるように、授業や予め許可されていない活動は行わないことになっている。学内の構成員全員が参加できるような時間帯に毎年開催されるこの「人権セミナー」は、ICUの人権に対する歴史的、伝統的な取り組みとして長年実施されている。

近年の講演内容は下記のとおりで、日常生活の中での人権に対する意識をどのように醸成していくかに焦点をあててきている。

実施日	講演者	テーマ
2010.12.14	平田オリザ	他者を思いやる『技術』
2011.12.13	北山修	日本人のコミュニケーション～母子像研究より～
2012.12.11	加納寛子	ソーシャルメディアでのコミュニケーションを考える ～加害者にも被害者にもならないために～
2013.12.10	ハリス鈴木絵美	SNSの可能性と覚悟
2014.12.09	高倉麻子×有元健	スポーツと人権意識
2015.12.08	金聖雄×Christopher Bondy	映像表現と人権～コミュニティの中での人権を考える

<成果について>

「人権セミナー」の終了後に必ずアンケート調査を行っている。調査結果を見ると、このセミナーによって「普段、自分が気づいていない視点を与えられる」「人権問題は、いろいろなところに存在することがわかった」「現状を知ることができた」など、普段気づかない点について考える、また自分が知らなかった人権についての知識を得る機会となっていることが分かる。

課題としては、この人権セミナーに、より多くの教職員、学生が参加するような工夫があげられる。セミナー開催の時期が、休暇が終了し、学期が始まったばかりであるため、学生は履修科目の確定や、諸手続きに忙しく、情報を得にくいのではないかという意見もあり、今後、周知の方法などについても検討が必要とされる。